

令和 6 年度 事 業 実 績

島根県で策定された「島根県農林水産基本計画」では、林業の低コスト化や製材用原木の需要拡大、また生産現場を支える林業就業者の確保対策を進めることとされており、達成に向けては6つの重点推進事項が設定され、様々な事業等が展開されている。

本流域林業活性化センター内でも、この重点推進事項に寄与する事業を引き続き実施するとともに、川上から川下の森林・林業関係者の連携のもと、流域林業の活性化に向けた取り組みを行った。また、人材育成・確保の取組の推進や、森林整備における技術向上に向けた事業実施に努めた。

1. 原木生産・再造林の低コスト化

(1) 生産技術向上の取り組み

- ① 簡易架線集材基礎技術研修会（活性化センター単独事業）
 - ・スイングヤードを活用した簡易架線の基礎習得研修
 - 12月3日 安来市 広瀬交流センターほか現地
 - 講 師：東部農林水産振興センター職員
 - 参加者：38名

- ② 伐木造材技術向上研修会（活性化センター単独事業）
 - ・安全で効率的なチェーンソーワーク技術の習得
 - 10月28日～29日 雲南市 グリーンパワーうんなん ほか現地
 - 講 師：ジット・ネットワークサービス 石垣理事長ほか
 - 参加者：9名

- ③ コンテナ苗生産先進地視察（活性化センター単独事業）
 - ・最新の育苗生産施設の視察
 - 8月2日 鳥取県日野郡日南町 現地ほか
 - 講 師：日南町森林組合 木村参事ほか
 - 参加者：40名

(2) 原木増産に向けた支援

- ① 「循環型林業に向けた原木生産促進事業（県単事業）」の補助金交付事務
斐伊川流域交付実績 30,380,000円
原木量 54,779m³

2. 製材用原木の需要拡大

(1) 木材製品（県産材）需要拡大に向けた取り組み

- ① 販路拡大に関する講演会（活性化センター単独事業）
 - ・都市企業と木材協定での成功事例や具体的な提案など1月20日 出雲市 朱鷺会館
講 師：株式会社モリアゲ 長野代表取締役社長
参加者：44名

- ② 「新時代に対応した木材の売り方 2024」関西視察ツアー（活性化センター単独事業）
 - ・関西方面における先進的な取組を進める事業者への視察
超が付加価値内装材として注目の企業、超巨大製品原木市場や大都市における木材活用のトップ企業の視察など11月27日～28日
 - 1) 大阪府 有限会社 橘商店
 - 2) 大阪府 エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社
 - 3) 奈良県 西垣林業株式会社
 - 4) 奈良県 ウッドメッセ奈良ほか講 師：各企業の職員
参加者：10名

3. 林業就業者の確保

(1) 人材育成・確保の取り組み

- ① 林業就業者の定着に関する研修会（活性化センター単独事業）
 - ・働きがいの向上に向けた取組事例、若者が求める職場環境、各種認定制度等の紹介など8月20日 松江市 ホテル白鳥「鶴の間」
講 師：協同組合山陰キャリア開発 戸谷代表理事
島根県立松江農林高等学校 齋藤教諭
島根県政策企画局女性活躍推進課 樋口課長補佐
参加者：24名

- ② 高校生の林業学習実践支援業務委託事業（県単事業）
- ・ 林業に係る講座開催や事業体訪問、体験会など林業学習の開催

【実施校及び実施回数】

○松江地区

松江農林高校 12回、立正大湊南高校 4回、松江西高校 1回

○雲南地区

横田高校 4回、三刀屋高校掛合分校 3回、飯南高校 1回

○出雲地区

出雲西高校 14回、出雲工業高校 8回、出雲農林高校 3回

4. 斐伊川流域荒廃林等再生整備基金協定（活性化センター単独）

（1）協定事業の実施

① 荒廃林整備の実施

- ・ 保育下刈り 16.05ha、除伐 4.38ha

5. その他受託事業

① 里山集落周辺森林整備事業

- ・ 流域内実施箇所数 継続実施4件、新規7件